【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第２区分
【発行日】令和5年5月30日(2023.5.30)

【公開番号】特開2022-85150(P2022-85150A)
【公開日】令和4年6月8日(2022.6.8)
【年通号数】公開公報(特許)2022-102
【出願番号】特願2020-196669(P2020-196669)
【国際特許分類】
Ｂ２３Ｋ 26/38(2014.01)
【ＦＩ】
Ｂ２３Ｋ 26/38 Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和5年5月22日(2023.5.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５３】
以上のように、判定対象の接続角度が所定の角度より小さいとき、穴形成領域内に設定した補助線Ｈ１ｉ、Ｈ２ａｉ、Ｈ２ｂｉと穴加工線Ｈ１、Ｈ２ａ、Ｈ２ｂとの間の線分を、直線または曲線よりなる補正分割線に置換するように分割線を補正すればよい。補正分割線は、分割線が補助線Ｈ１ｉ、Ｈ２ａｉ、Ｈ２ｂｉと交わる位置から第１の連結点とは異なる第２の連結点までの直線（線分）または曲線である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
図１１に示すように、レーザ加工機１００が、穴加工線Ｈ３ａ～Ｈ３ｃで囲まれた穴形成領域を、一直線状の分割線ＤＬ８ａと、それぞれ破線部分を含む一直線状の分割線ＤＬ８ｂ及びＤＬ８ｃで分割したとする。すると、分割線ＤＬ８ｂと穴加工線Ｈ３ｂとがつながる連結点Ｐ８３１ｂ及びＰ８３２ｂの双方において判定対象の接続角度が小さい。また、分割線ＤＬ８ｃと穴加工線Ｈ３ｃとがつながる連結点Ｐ８３２ｃにおいて判定対象の接続角度が小さい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７０】
図１４は、加工プログラムを生成するＣＡＭ装置２の機能的な構成例を示している。ＣＡＭ装置２は、ＣＡＭのソフトウェア（コンピュータプログラム）を実行することにより、図１４に示すような機能的な構成を備える。